

としまみどりの防災公園(IKE・SUNPARK)概要

●事業概要

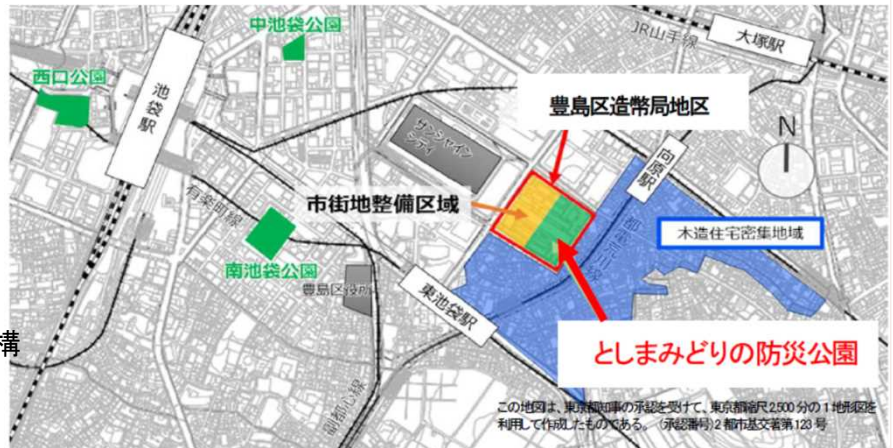
所在地: 豊島区東池袋四丁目42
(池袋駅から徒歩約15分)

名称: としまみどりの防災公園
(IKE・SUNPARK)

面積: 約1.7ha
(造幣局地区全体で約3.2ha)

事業手法: 防災公園街区整備事業

施行者: 独立行政法人都市再生機構



●地域特性からみた本公園の役割

造幣局地区は西側が池袋副都心、東側が木造密集地域と隣接した場所にあるため、防災性の向上と文化・賑わいの創出を兼ね備えた土地利用が求められることから、敷地の東側約1.7haを防災公園に、西側約1.5haを大学等の市街的土地利用とする。公園の主な役割は以下の通り。

○隣接する木造密集地域からの延焼対策やヘリポートとしての活用、救援物資の集配機能等、発災時の防災拠点としての役割。

○区内最大規模の公園として、地域の憩いの場となり、新たな文化や賑わいを生み出す公共空間としての役割。

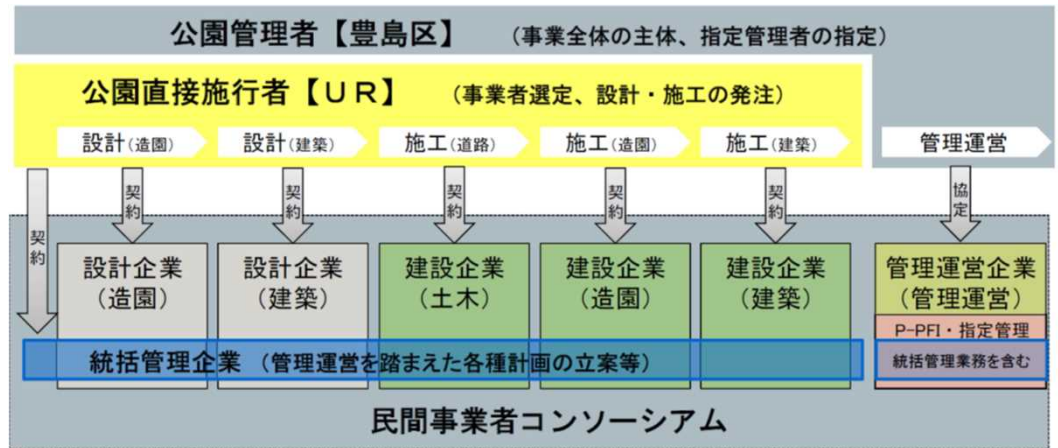


●主要経緯

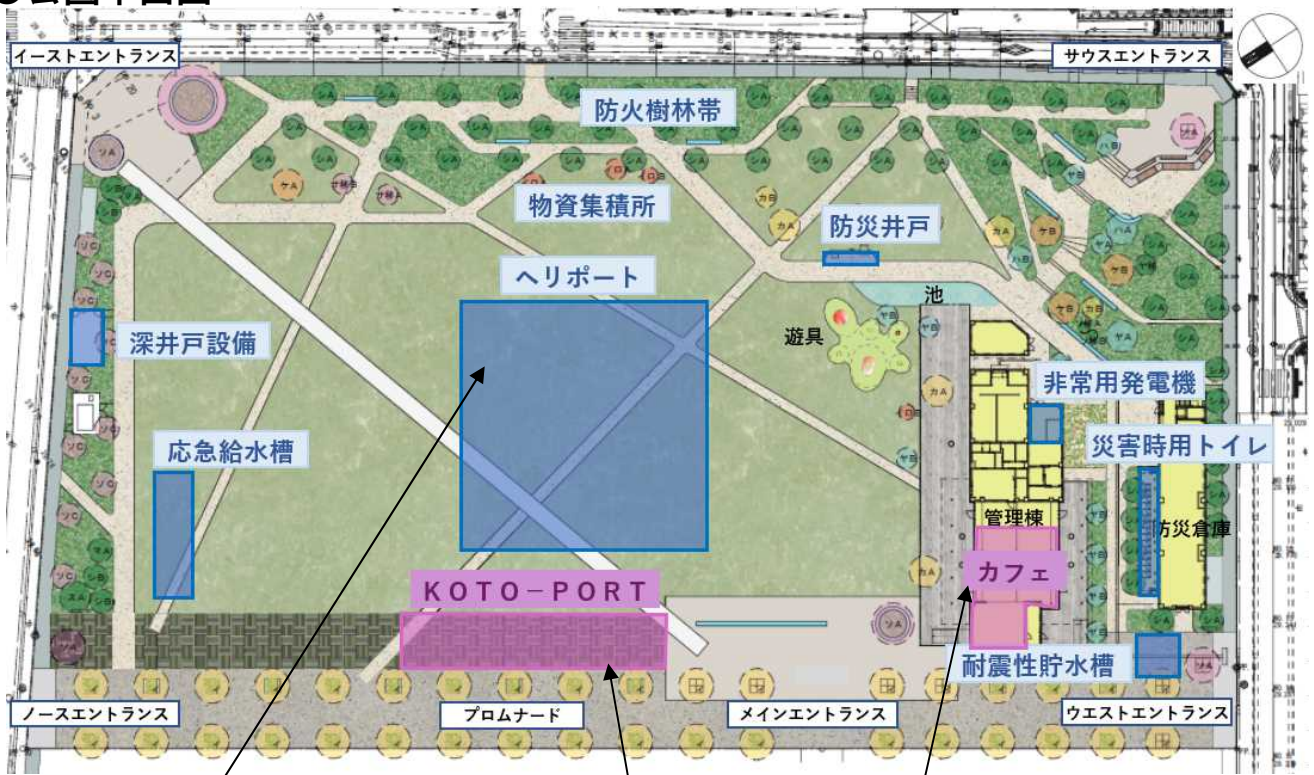
| | |
|----------|---------------------------------------|
| 平成26年10月 | 造幣局地区まちづくり計画策定(豊島区) |
| 平成28年1月 | 都市計画決定(公園、地区計画) |
| 平成28年10月 | 造幣局東京支局がさいたま新都心に移転 |
| 平成29年2月 | 都市計画事業承認(公園) |
| 平成30年1月 | 公園整備事業者決定((株式会社日比谷アメニス)を代表とするコンソーシアム) |
| 令和元年5月 | 公園工事着手 |
| 令和2年7月 | 公園一部開園(広場及び管理棟) |
| 令和2年12月 | 公園全面開園 |

●事業実施体制

公園完成後の管理運営(使われ方)を見据え、豊島区とURが共同して設計・施工事業者と管理運営事業者を一体的に公募。同時に賑わい創出のために、Park-PFI制度を導入し、一体的な事業実施体制の構築を図った。



●公園平面図



【ヘリポート】



芝生広場には、緊急時に離発着可能なヘリポートを整備。

【KOTO-PORT】



飲食の提供等、多様な業態を展開する小型店舗。管理運営企業の自主事業として実施し、公園に賑わいを創出。

【カフェ】



管理棟内に Park-PFI制度を活用してカフェを設置。体験学習室としても利用可能で、賑わい・交流の拠点となる。